

発 言 通 告 書

発言者氏名	高橋英昭
発言の会議	令和7年 9月18日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長、教育長

【件名及び発言の要旨】

Ⅰ 将来を見据えた学校を中心としたまちづくりについて

- (1) 人口減少社会においては、都市機能の集約化や人口の偏在から投資が集中する地域と、そうでない地域に分かれるのは避けられないことから、それを踏まえた本市のまちづくりについて
- (2) 学校を中心としたコミュニティーづくりを進めているが、その政策と親和性が高い、都市機能も含めた学校を中心としたまちづくりについて
- (3) 横須賀市教育環境整備計画は、教育的観点及びまちづくりの観点の双方を考慮した上で進めるべきであることから、市長部局もより密接に関わる必要性について
- (4) 住民が積極的に学校に訪れるような仕掛けや工夫について
 - ア 学校開放において、学校三部制の管理体制を地域の実情を踏まえながら、可能なところから試行を始めてはいかかがか。
 - イ 行政サービスにおいて、地域生活相談窓口の機能を学校に配置してはいかかがか。
 - ウ 学校のセキュリティー対策において、住民の学校利用が増えることを機に、玄関や校門付近だけではなく、主要な場所にも

防犯カメラを配置してはいかがか。

2 部活動の地域展開について

(1) 管理運営団体について

ア 教育委員会が示した「横須賀市における今後の学校部活動の在り方について」におけるフェーズ2では、教職員が兼業扱いで地域の指導者として関わることになっているが、教職員以外にも地域からの指導者が関わるため、管理運営団体を構築する必要があるという理解でよいか。

イ 管理運営団体は指導者の登録を担うことから、指導者の募集も行うことになると考えられる。いわゆる「人材バンク」としての機能を持ち、そのような活動を行っていくのか。

(2) フェーズ1及びフェーズ2では合同部活動が学校教育活動として位置づけられ、フェーズ3では地域クラブ活動となる際の、各フェーズにおける指揮命令権者について

(3) 平日の部活動について

ア 以前から指摘されてきた「未経験種目における部活動顧問の担当」というアンマッチは解消されないと考えられるが、方策は検討されているのか。

イ 休日の活動状況を踏まえ、平日の部活動体制についても、将来的に休日同様の別の体制への移行が検討される可能性はあるか。

ウ 部活動という枠組みを超えてその競技や活動に打ち込みたいと考える生徒のために、活動の場を紹介するなどの取組を教育委員会として行う予定はあるか。もし行わない場合、その理由もお聞きする。

3 公園機能の再編について

(1) 地域住民への意見聴取を最初のステップと考えた場合、現在どこかの地域で意見聴取の実施や検討が進められているのか、

その進捗状況について

- (2) ネガティブな話題をポジティブに転換するためにも、公園水泳プール跡地の活用の検討を、公園機能の再編を進める絶好の機会と捉えて進めることについて